

(第11号様式)

# 事業実施報告書

## 1 事業の名称

HIROSHIMA 平和学習

## 2 実施時期及び実施期間

平成24年8月17日(金)～平成24年8月19日(日) (3日間)

## 3 実施場所

広島平和記念公園を中心とした広島市

## 4 実施主体

(公財) AFS 日本協会 広島支部

## 5 事業の目的

- ・被ばくを乗り越え発展した広島の街を散策し、将来の世界平和のあり方について考える。
- ・様々な人との交流を通し、相互の異文化交流・異文化理解を図る

## 6 実施内容 (箇条書き)

- ・平和学習事業：被ばく証言の兆候、平和記念施設・慰霊碑の視察、意見交換を行う
- ・平和散策事業：被ばくから奇跡的な復興を遂げ、平和都市として栄える広島の街を散策する

## 7 参加人数又は派遣人数 (国外に派遣した場合、広島市民の人数も)

参加者 25名 (うち留学生15名、広島市民10名)

研修補助者 4名 (広島市民。社会人)

## 8 実施効果 (箇条書き)

- ・広島に実際来て体験し学び議論することでより多くのことを考えるキッカケとなった
- ・広島 of 大学生が広島 of 平和に対する今回の研修を企画し、勉強することで改めて自分たちで広島について考えることができた
- ・日本に1年間の留学をしている海外の高校生が日本の高校生同様に夏休みに日本人と一緒に日本の平和間のひとつである広島について学ぶことができ、さらに広島を通して自分たちの平和について考えるきっかけとなった

(第13号様式)

## 事業実施内容及び所感文

事業名：HIROSHIMA 平和学習

団体名：AFS 広島支部

実施時期及び実施期間：平成24年8月17日(金)～平成24年8月19日(日) (3日間)

実施内容：

日 程	場 所	交流・協力活動名	内 容
平成24年 4月から6月	広島市周辺		実行委員として広島市内の 大学生を募集
平成24年 8月17日(金)	広島市青少年セ ンター	アイスブレーキン グ・開会式	参加者の自己紹介。大学生の自己紹 介。ボランティア自己紹介。
		オリエンテーション	「あなたの持つ『広島』のイメージ を教えてください」を留学生に対し て実施。その後のディスカッション のために日本語でワークシートに 記入しました。
	出身国紹介とホーム ステイ先(県)紹介	留学生の出身国の紹介(文化・場 所・有名な場所など)と留学生の日 本でのホームステイ先の紹介	
	みっちゃん いせや	夕食(お好み焼き)	あらかじめお好み焼きと広島のか かわりについて学び、実際にお好み 焼きの作られるところを見て、食し ました。
8月18日(土)	平和記念公園内 国立広島原爆死 没者追悼平和祈 念館	被ばく体験聴講	生徒の意見で「教科書で学ぶ 事と実際に本人からの話を聞いて みるのでは全然違った」とい った意見が出ました。また証言者の 目や声から悲しみが伝わると 発言した生徒もいました。
	平和記念公園内、 および周辺	散策	各グループに分かれての公園散策 と市内散策。市内散策では島外科 や袋町小学校、アンデルセンなど
	国際会議場	昼食	しげるくん弁当。大学生からしげる

			くんについてのことを学び、実際に食しました。また同時に広島の水を飲みました。留学生は一粒も残さないように箸を使って食べていました。
	平和記念資料館	見学	留学生に音声ガイドを渡し、各自自由に見て回りました。時間を1時間半と設定していましたが、留学生はじっくりと音声ガイドを聞きながら、説明文をよみながら見ていたため結局時間を1時間延長しました。中には広島市に滞在しており、何度も訪れたことのある生徒もいましたが、被ばく体験聴講や留学生同士での話し合いを受けてかさらにじっくりと人一倍時間をかけて見学する生徒がいました。
	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館	見学	留学生に自由に見学をさせました。英語と日本語で記載された被ばく体験をじっくり読む留学生や遺影と氏名をじっくり眺める留学生の姿が印象的でした。
	広島市青少年センター	セッション	各グループで日本語でセッションを行いました。
8月19日(日)	広島市青少年センター	アクティビティ	風船ゲームを通して争いの発生と解決方法を学びました。3グループに与えられたミッションはそれぞれ異なることを生徒は知りません。いかに自分たちの要求と相手の要求を満たすことができるのか。をゲームで体感しました。この企画を高校生・大学生を対象として募集し、1名と少数ながら参加をしていただき、グループに入って一緒にア

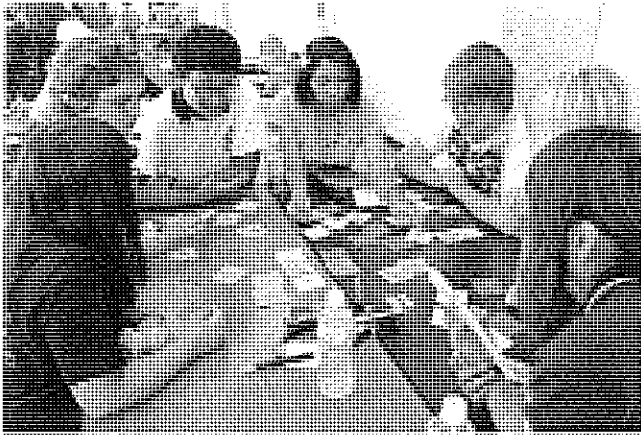
		クティビティを行っていただきました。
	最終発表	留学生一人一人が3日間の感想や、広島についての意見を述べてくれました。
所 感	<p>今回の研修の全体テーマは「平和学習を通して、他人の意見や文化を受け入れることを学ぶ」でした。留学生が現在体験している留学生活において国が違うことによる生活の違いや家庭内ルールの違いに心を開かず、自分のスタイルを尽き通そうとすることは、人と人との間に亀裂を生み、嫌悪感や争いに発展します。1人1人でこのようなことが起こるのならば、何万人もいる国の中で意見が異なるのも当然であり、さらには国家間のもめごとにも通じるものがあるのではないかということでこのテーマを設けました。小さな亀裂は完全になくすことはできませんが、意識が変わることで平和的に解決策を見出そうと努力することができるのではないかと考えました。留学生にとってはカルチャーショックやホストファミリーのルールを受け入れるということにもつながり、また今の彼らにとっては小さいながらも大きな一歩であり、小さな事を変えるだけでも大きな人間的な成長につながるようになることを期待し、広島という土地で3日間のセッションやアクティビティを行いました。</p> <p>また今回はボランティアという形で参加をしてもらった広島市内の大学生（広島市立大学・広島大学）としても留学生と関わるだけでなく、彼らの考えや意見に新しい発見があるようでした。さらにはイベントの立案、準備、実行は大学では学べないものでした。このイベントを通して、AFS 広島支部に年間的にかかわっていきたい、という大学生もいました。</p> <p>今回、広島市さまから頂いた補助金を利用することで留学生や広島市内の大学生にも広島を通して、広島に実際来て体験し学び議論することでより多くのことを考えるキッカケとなりました。ご協力、誠にありがとうございました。</p>	

( 第 1 4 号 様 式 )

事業名 : HIROSHIMA 平和学習

団体名 : AFS 広島支部

実施期間 : 平成 24 年 8 月 17 日 ( 金 ) から 19 日 ( 日 )



8月17日(金) アイスブレイキング

自分たちの名前を使って知っている日本語を探そう



8月17日(金) オリエンテーション

「あなたの持つ『広島』のイメージを教えてください」を日本語で記入する生徒



8月17日(金) 出身国紹介とホームスティ先紹介

ノルウェーからの留学生



8月17日(金) 夕食 お好み焼き「みっちゃん いせや」

留学生はみんな楽しそうに会話をしながら完食していました



8月18日(土) 原爆ドーム対岸にて集合写真



8月18日(土) 被ばく体験聴講 生徒の意見で「教科書で学ぶ事と実際に本人からの話を聞いてみるのでは全然違った」といった意見が出ました。また証言者の目や声から悲しみが伝わると発言した生徒もいました



8月18日(土) 原爆の子の像横の折り鶴保管前にて

みんな暑い中、グループリーダーの話をきちんと聞き、質問もしてくれました

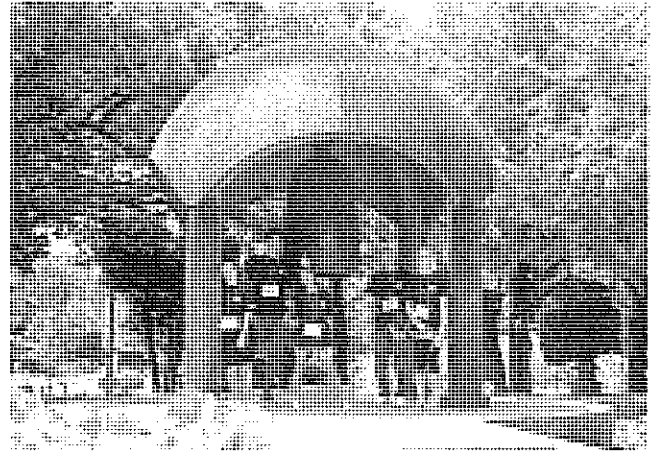


8月18日(土) 平和記念公園内 レストハウス (被ばく建物)  
各グループのグループリーダーである大学生の説明に熱心に耳を傾ける留学生



8月18日(土) 原爆ドーム前

3グループに留学生は5名、大学生が2名でした。



8月18日(土) 平和記念公園内 平和の鐘 にて

鐘の音を聞きながら鐘に描かれている国境のない世界地図を見た後でグループでの撮影



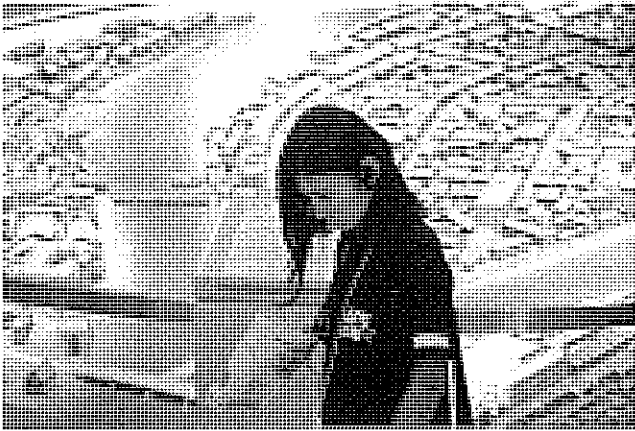
8月18日(土) 平和記念公園近く 島外科 (爆心地)

当時の様子を思い浮かべながら生徒は空を見上げていました



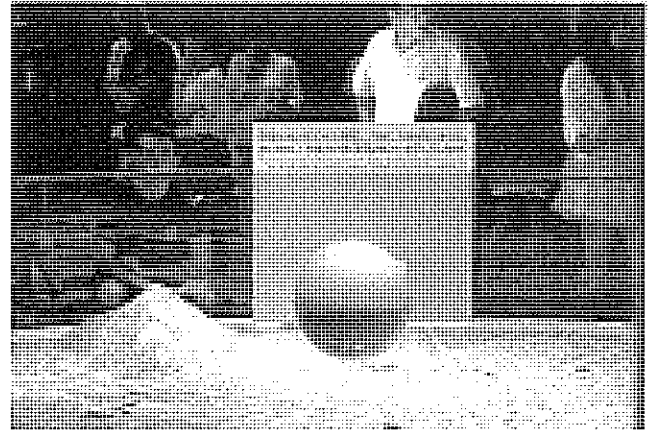
8月18日(土) 昼食

戦時中のお弁当を再現したしげるくん弁当を頬張る生徒。他の生徒も一粒も残さないように食べていました



8月18日(土) 平和記念資料館 見学

言語ガイドを利用しながら被ばく以前の平和記念公園と被ばく後を見比べる生徒



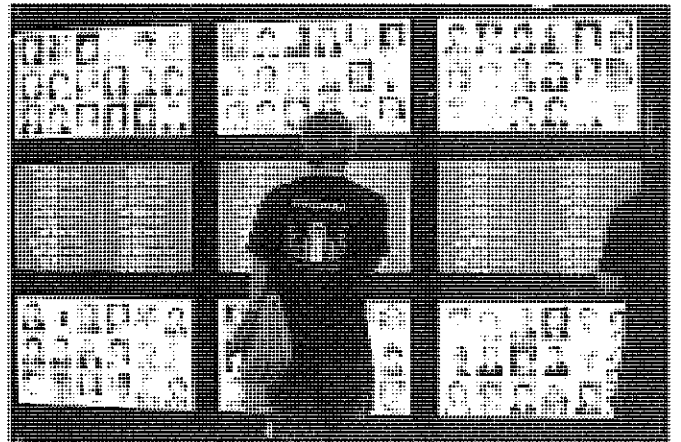
8月18日(土) 平和記念資料館 見学

爆心地と爆発した位置、火球の大きさを見上げる生徒(左)。彼は何度も資料館を訪れているにも関わらず音声ガイドを利用しながら長時間しっかりと見学を行っていました



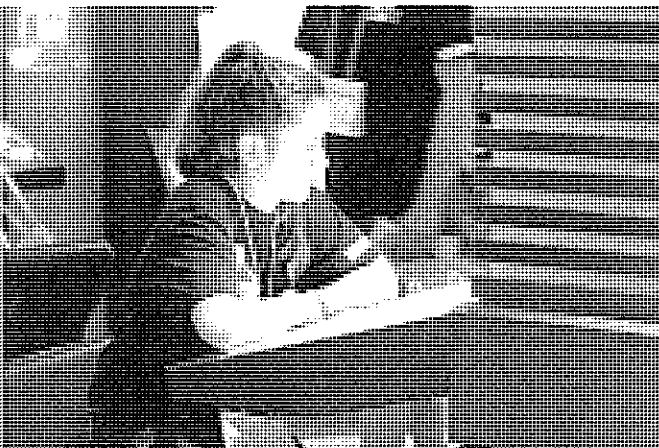
8月18日(土) 平和記念資料館 見学

2時間じっくり一文字一文字を追うようにじっくり見学した生徒。生徒はみんな見学時間をオーバーするほど真剣に隅々まで見て、言語ガイドで説明を聞いていました



8月18日(土) 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 見学

原爆死没者の遺影と氏名を前に長い時間立ち止る生徒。亡くなった方の遺影を見ながら彼は何を考えていたのでしょうか



8月18日(土) 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 見学

英語と日本語で記載された被ばく体験聴講をじっくりと読む



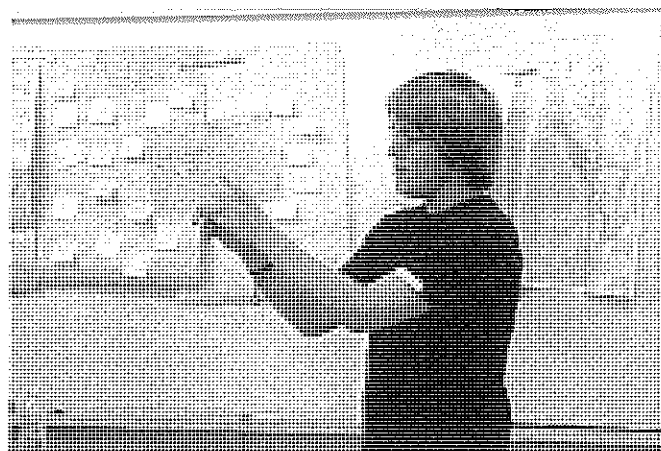
8月18日(土) セッション準備のために1日を通しての気づき・発見・興味を持ったこと・不思議に思ったことを自分の言葉でまとめて記入する生徒と見守る学生ボランティア





8月18日(土) セッション

身振り手振りを用いてグループ内で自分の意見を述べる生徒。他の生徒からは「戦争を繰り返さないために、自分が出来る事をした」という意見もでてきました



8月18日(土) 発表

広島の都市について考えたことを独自の図を用いて説明する生徒



8月19日(日) アクティビティ 風船ゲームを通して争いの発生と解決方法を学ぶ。3 グループに与えられたミッションはそれぞれ異なることを生徒は知りません。いかに自分たちの要求と相手の要求を満たすことができるのか。をゲームで体感しました



8月19日(日) アクティビティ結果。彼らのアイデアはそれぞれのミッションを満たすために壁に円形に風船を貼る、でした



8月19日(日) 最終発表 生徒一人一人が3日間を通しての発表を行ってくれました



8月19日(日) 広島市青少年センター前にて集合写真

